

臨床検体使用に関するお知らせ

『研究課題名 腎移植後抗体関連拒絶反応の組織における浸潤 T 細胞レパトア分析によるリスク分類作成』

【研究の背景および目的】

近年、腎移植後急性拒絶反応の治療法は確立され、腎移植後の短期成績は著明に改善しました。しかし、活動性抗体関連拒絶反応は、未だ有効な治療法は確立されておらず、移植後の長期生着にとって大きな問題となっています。そこで、東邦大学大森病院腎臓科では、移植腎生検により活動性抗体関連拒絶反応と診断された症例の残余検体を使用して、免疫染色を行う事で T リンパ球を解析し、新たなリスク分類を構築することを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、腎移植の長期成績の向上につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2013 年 1 月～2020 年 12 月までに東邦大学医療センター大森病院腎臓科において、移植腎生検を行い、活動性抗体関連拒絶反応と診断された症例で、「病理診断のための組織の教育・研究の使用することに関する同意書」にサインを頂いている方約 100 名を対象とします。

移植腎生検組織の残余検体を用いて、多重免疫染色を行い、T リンパ球の性状や分布を解析します。また、診療記録から腎移植後の臨床データ、検査データを用いて調査を行います。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報や病理解剖結果を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院

腎臓学講座科

職位・氏名 シニアレジデント 西川 健太

電話 03-3762-4151 内線 ____ 6757 ____